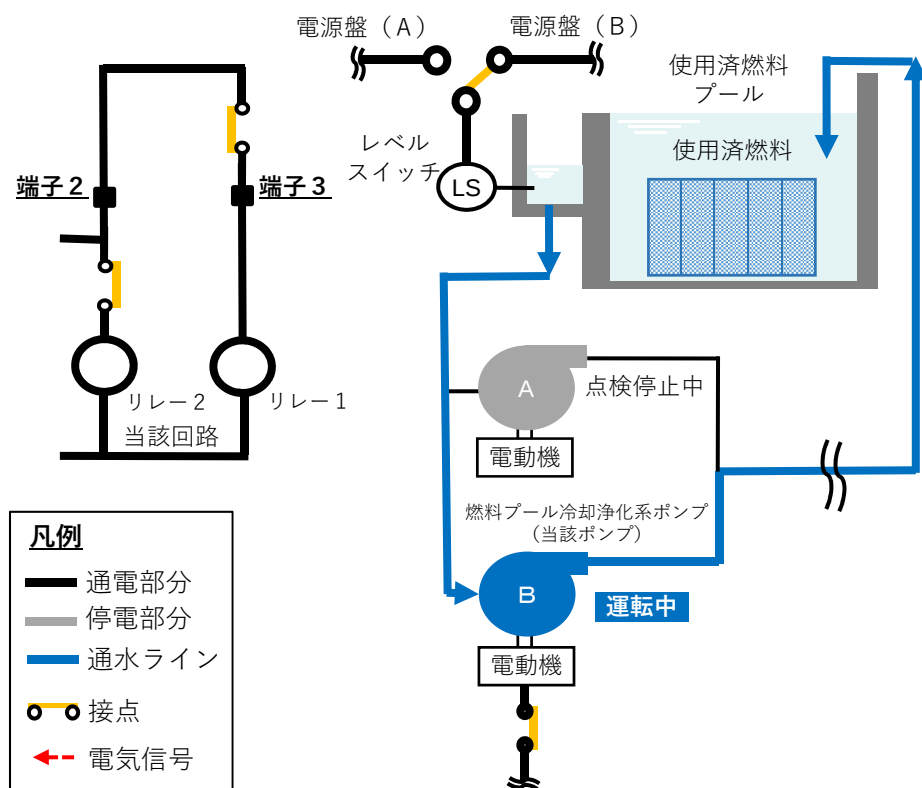


女川2号機燃料プール冷却浄化系ポンプの停止の概要

- 点検作業で停止していた電源盤（A）の復旧に伴い、当該ポンプの起動・停止を制御する回路（当該回路）へ電気を供給するための電源を、電源盤（B）から電源盤（A）に切り替える計画としていた。
 - 2019年8月28日、その準備作業として、電源盤（A）への切り替え操作の際（⇒ ①）、当該回路が瞬間的に停電しても当該ポンプへの停止信号が発信されないように（当該ポンプが停止しないように）、端子2－3間で通電回路を設けるためのジャンパ作業※¹を行うこととしていた。（⇒ ②）
 - 同日9時59分頃、運転員2名がジャンパ作業を実施するため、端子2を固定している「ねじ」を緩めたところ、ケーブルの接点が端子から一時的に離れた。（⇒ ③）
 - これにより、リレー※²1および2への通電が切れたため、当該ポンプの停止信号が自動的に発信され、当該ポンプが停止した。（⇒ ④）
 - 速やかに端子2を固定している「ねじ」を締め直し、端子2とケーブルの接点を正常な状態（電氣的に接続された状態）にすることで、停止信号を解除し、当該ポンプに異常がないことを確認したうえで、同日10時19分、当該ポンプを再起動し復旧させた。
- ※1 電線等を用いて、電気回路間の端子同士をつなぐ作業 ※2 電磁石の動作により電気回路の入切を行う装置



停止信号発信前の状況

